

# 加納地区まちなか歩き構想

～後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり～



中山道安良町の道標



加納城跡



清水川プロムナードの桜



中山道の整備イメージ



旧加納町役場



歴史の感じられる建築物



岐阜和傘

## 加納地区まちなか歩き構想

|                          |   |
|--------------------------|---|
| ・ 背景                     | 1 |
| ・ 基本理念                   | 1 |
| ・ 基本目標                   | 1 |
| ・ 目標設定                   | 1 |
| ・ 基本的な進め方                | 2 |
| ・ テーマ別周遊ルートの設定           | 2 |
| ・ 各周遊ルートに求められる演出の検討      | 3 |
| ・ 周遊ルートの整備イメージの検討        | 4 |
| ・ 新たな魅力づくりの検討            | 5 |
| ・ 各周遊ルートの整備イメージ          | 6 |
| ・ まちなか歩きの観点から、拠点に求められる機能 | 8 |
| ・ 今後の展開について              | 8 |
| ・ 本構想が策定されるまでの取り組み       | 9 |

岐 阜 市

# 加納地区まちなか歩き構想

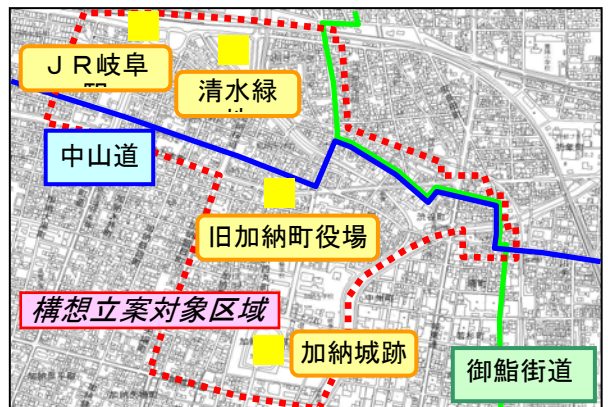
## 背景

慶長5年、関ヶ原の合戦後、徳川家康の命により岐阜城が廃城となり、新たな軍事・交通の要衝として加納城が築城された。初代城主には奥平信昌（妻は徳川家康の娘、亀姫）がつき、城下町の形成がなされた。また、五街道のひとつ中山道の加納宿も置かれ、城下町としてのみならず宿場町としても繁栄した。江戸時代後期には和傘産業も盛んになり増々繁栄が進んだ。

現在も加納城は加納城跡として往時のたたずまいを残し、地区の基本的な骨格は、中山道、御鯰街道等を含め、ほぼ当時のまま残っている。

明治時代に入ると、城下町や宿場町としての機能は失うものの、岐阜県師範学校、岐阜農林学校など次々と教育施設が置かれ文教の町となった。大正時代には若き日の川端康成氏が3度にわたって加納の地に恋人を訪ね、その体験を小説に残している。

このような歴史を刻み込んだ「加納」の地に溶け込む様々な、歴史、文化、伝統等の魅力ある資源を掘り起こし活用することで、多くの人が気軽に訪れ楽しくまちなかを歩き、また、地域にとっては誇りとなる、心の豊かさが感じられるまちづくりの実現を目標とし、後世に伝えられる活力を生み出すための構想を立案するものである。



## 基本理念

—後世に伝えるみちづくり・ひろばづくり・かわづくり—

- ・人々に語りかけ魅了する、心に感じることができる。
- ・後世に残し伝えたいと願うようなまちづくりを実現する。

## 基本目標

一．歴史を感じる

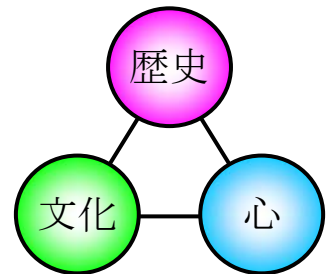
「加納」の地に流れた歴史を感じさせるまちづくりを目指す。

二．文化・伝統を感じる

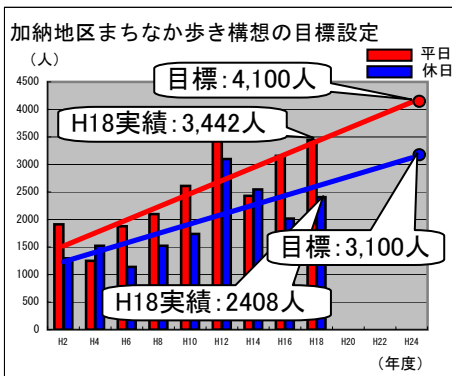
「加納」の地で育んだ文化、伝統を感じさせるまちづくりを目指す。

三．心を感じる

「加納」の地に生きた人々、その心を感じさせるまちづくりを目指す。



## 目標設定



加納地区まちなか歩き構想の目標値を設定する上で、加納栄町通1丁目2年おきに行っている歩行者交通量調査のデータを使用した。

このデータから平日・休日ともに毎年増減があるものの、全体的には増加していることが読み取れる。岐阜市の中心市街地の歩行者が減少しているなか、まちなか歩き構想による取り組みで、このまま加納地区の歩行者数が増加し続けることを目標とし、回帰直線を書くことで平成24年度の歩行者交通量を予測し、

平日は平成18年度の約1.2倍である **約4,100人** /9h(10:00～19:00)

休日は平成18年度の約1.3倍である **約3,100人** /9h(10:00～19:00)

を目標値として設定する。

加納地区にはこの場所にしか歩行者交通量のデータがわかる資料が無いため、今後、中山道の整備が進んでいく中、中山道で歩行者交通量調査を行う等、調査地点について見直しを図る。

## 基本的な進め方

1. 魅力の抽出

2. テーマ別周遊ルートの設定

3. 各周遊ルートに求められる演出の検討

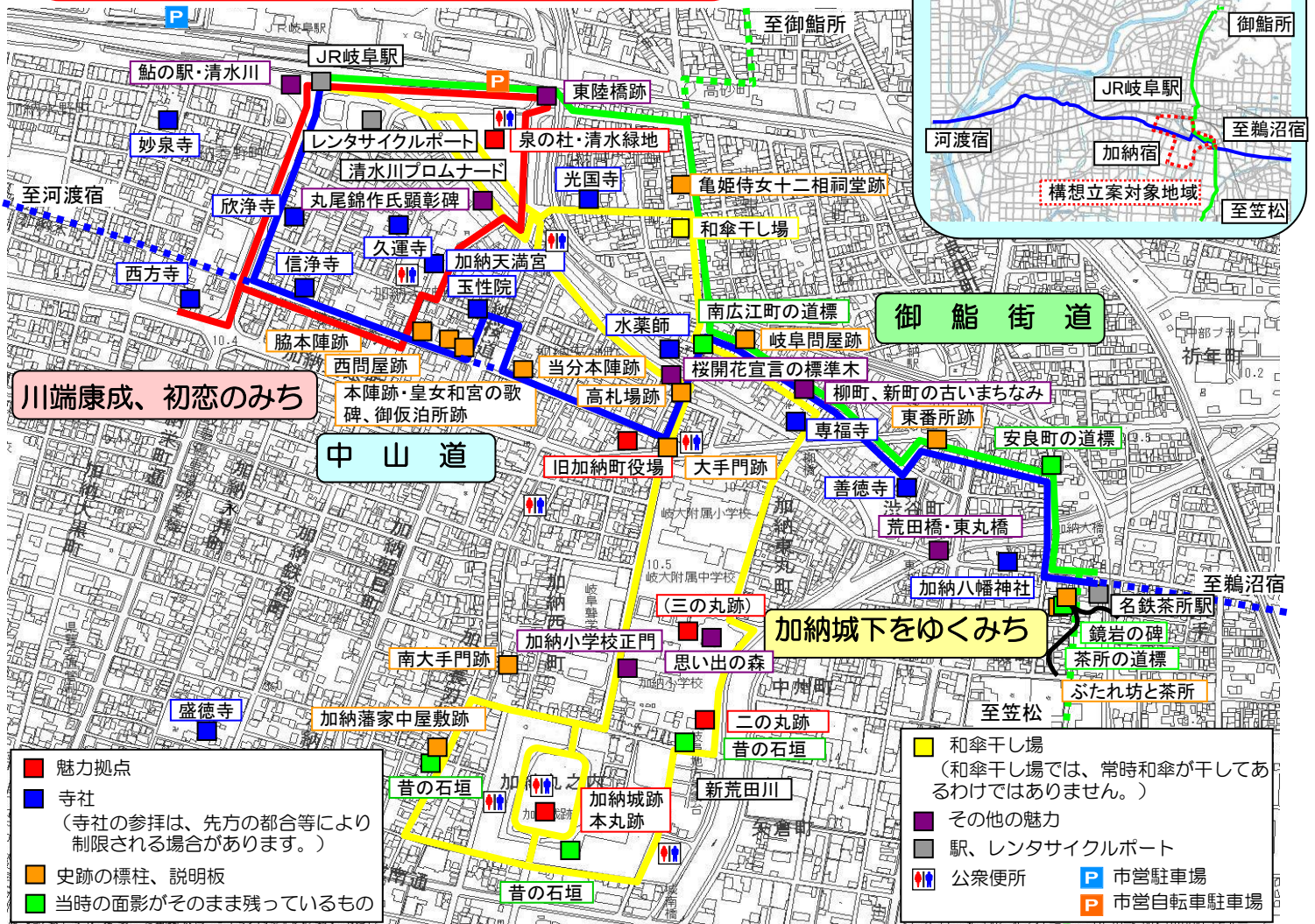
各周遊ルートの整備イメージの検討

新たな魅力づくりの検討

対象地区において4つの周遊ルートを設定

## テーマ別周遊ルートの設定

### 『加納地区まちなか歩き構想』における4つのルート



#### 中山道

(道程: 約2.0km、所要時間: 約50分(散策))

#### 御鯰街道

(道程: 約1.6km、所要時間: 約40分(散策))

#### 加納城下をゆくみち

(道程: 約4.0km、所要時間: 約100分(散策))

#### 川端康成、初恋のみち

(道程: 約1.6km、所要時間: 約40分(散策))

※中山道・御鯰街道の周遊ルートは、来訪者にも歩いて頂くことを考慮して、起終点をJR岐阜駅と名鉄茶所駅に設定しています。そのため**実際の街道を示すものではありません。**

## 各周遊ルートに求められる演出の検討

設定した各周遊ルートの魅力をさらに引き出し、楽しくまちなかを歩くための演出を検討する。

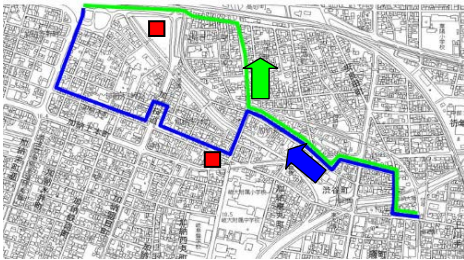
### 中山道

### 御鯰街道

ルートのテーマ：加納城下町、宿場町の歴史的な雰囲気が感じられ、昔からある街道をのんびり散策するルート。

求められる演出：中山道や御鯰街道を散策できるように「中山道・御鯰街道の位置を明確にする」こと、「加納城下町、宿場町の歴史的なまちなみや昔の街道を感じさせる雰囲気や情緒づくり」を行うことで歴史が感じられるまちなみを演出し回遊性を高める。

位置図



位置図の写真(中山道)



位置図の写真(御鯰街道)

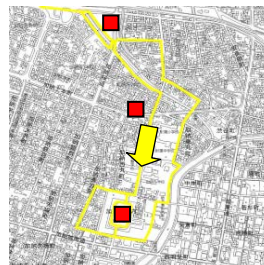


### 加納城下をゆくみち

ルートのテーマ：加納城下町という豊かな歴史環境や伝統、文化、自然が溶け込む地区を巡り歩き、加納城跡をのんびり散策するルート。

求められる演出：「加納城下町の歴史的なまちなみの雰囲気や情緒づくり」を行うことで歴史が感じられるまちなみを演出すること、より多くの人に歩いてもらうための「楽しく学びながら回遊できる仕掛けづくり」を行う。

位置図



位置図の写真



### 川端康成、初恋のみち

ルートのテーマ：川端康成氏が初恋の人を訪ねて加納を訪れた時に共に歩いた場所を巡り、当時の川端康成氏の思いを感じるルート。

求められる演出：「川端康成氏が歩いたと思われる足取りをたどれる仕掛けづくり」を行うこと、「初恋の人と共に歩いた情景が感じられる演出」を行うことで回遊性を高める。

位置図



位置図の写真



## 周遊ルートの整備イメージの検討

各周遊ルートに求められる演出の検討から、周遊ルートの整備イメージを取りまとめる。

### 整備イメージ

#### 道路の意匠

歴史的なまちなみや昔の街道の雰囲気に合わせて道路デザイン。

#### 道路附属物

まちなみに調和した道路附属物の設置。

#### サイン、ベンチの設置

街道・寺社等へのわかりやすい誘導案内、休憩しながらの回遊。

#### 歴史案内板、標柱の設置

史跡等を案内し位置を明確にすることで、楽しく学びながら回遊するための仕掛けづくりをする。

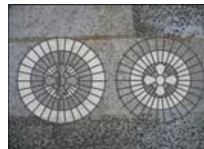
### 道路の意匠

- ・街道をイメージした地道風舗装
- ・地道風舗装に合わせた側溝整備
- ・街道オリジナルのグレーチングにより街道の位置を明確にする
- ・和傘の模様を描く（川端康成氏が和傘を持って歩いていたことが読み取れることから、史実やエピソードを体現させる仕掛けづくり）

### 歴史的なまちなみの演出



中山道オリジナルグレーチングのイメージ



石張り舗装に和傘の模様を彫り込んだイメージ



地道風舗装、洗い出し側溝の整備イメージ

### 道路附属物

- ・電柱等を着色することによる景観への配慮
- ・道路標識等を整理することによる景観の改善
- ・趣のある照明灯の設置

### 景観に配慮したまちなみづくり



電柱の着色例



道路標識の電柱への添架イメージ



趣のある照明灯の整備イメージ

### サイン、ベンチの設置

- ・歴史系サインの設置による、街道・寺社等への誘導案内
- ・まちなみの雰囲気にあった字体や、デザイン、材質等工夫を凝らす
- ・景観に配慮したアクセント舗装により、サインの位置を目立たせる

### 史跡等への案内誘導

石張りのアクセント舗装



中山道歴史系サイン（誘導サイン）整備イメージ



中山道歴史系サイン（全体案内サイン）整備イメージ

### 歴史案内板、標柱の設置

- ・史跡、文化財等の説明文の掲示
- ・史跡、文化財等の位置を明確化
- ・まちなみに調和したデザイン

### 楽しく学びながら回遊するための仕掛けづくり



歴史案内板



標柱

## 新たな魅力づくりの検討

### 敷地空間の活用

- ・ 和傘の飾り付け
- ・ 一輪挿しの飾りつけ等

まちなみに潤いを与え、訪れる人へのもてなしの心を演出



和傘の飾り付け例



一輪挿しの飾り付け例

- ・ 小説の抜き書きの掲示
- ・ 川端康成氏が歩いたと思われる足取りをたどるミニマップの掲示

川端康成氏が歩いたと思われる足取りをたどり、その情景を感じる

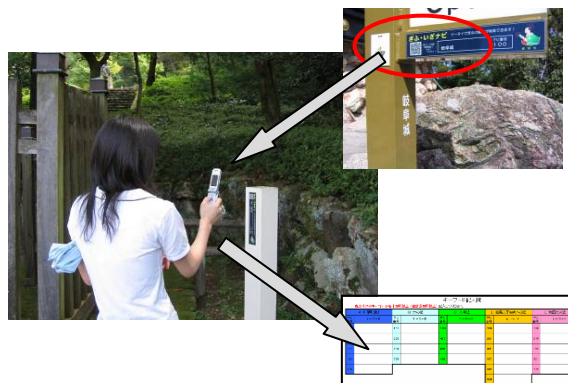


小説の抜き書きとミニマップの掲示板の例

### その他のソフト事業

- ・ ぎふ・いざナビ（QRコード）によるまちなか案内
- ・ イベントの実施による賑わいの創出
- ・ まちなか案内人の検討
- ・ レンタサイクルによる回遊

賑わいの創出



イベント：QRコードを使ったスタンプラリー



まちなか案内人



レンタサイクルによる回遊

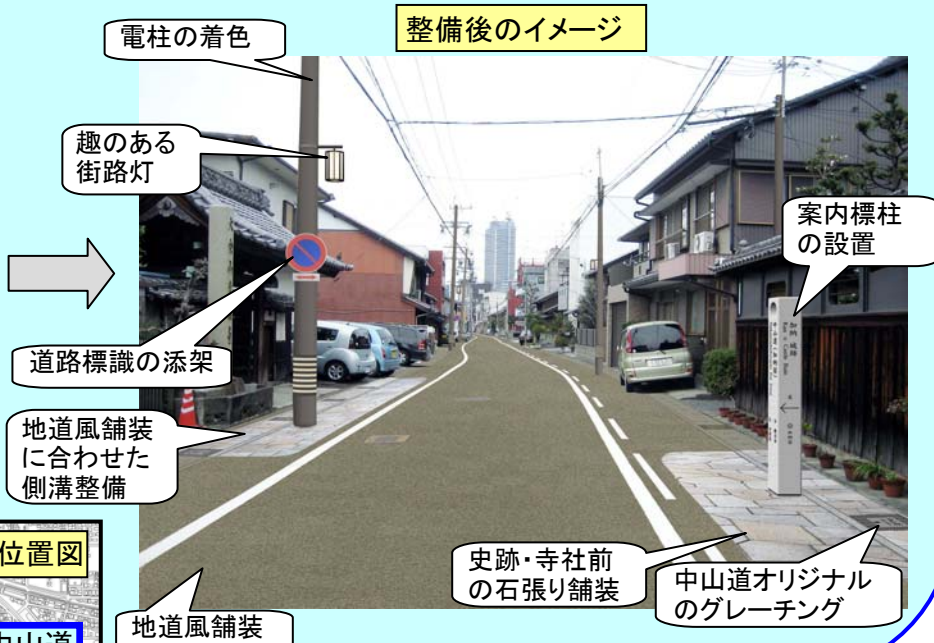


レンタサイクルポートに観光ガイドを設置

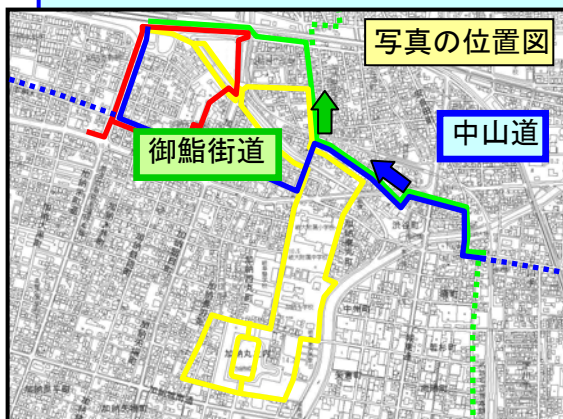
## 中山道

中山道オリジナルのグレーチングを設置するなど中山道の位置を明確にする。また、地道風舗装や趣のある街路灯を設置するなど昔の街道を感じさせる演出をする。

整備前



写真の位置図



## 御鯰街道

整備後のイメージ

整備前



歩道と車道で地道風舗装の色を分けるなどで歩行空間を確保し、昔の街道を感じさせる演出をする。また、植栽の設置や敷居空間の活用などによりまちなみにうるおいを与える。

## 加納城下をゆくみち

加納城跡周辺の歩道・縁石には、加納城の石垣をイメージさせる素材を使用するなど、歴史を感じさせる演出をする。また、魅力を紹介する説明板を設置するなど、楽しく回遊してもらうための仕掛けづくりをする。

整備前



魅力を紹介する説明板

趣のある街路灯

整備後のイメージ

電柱の着色

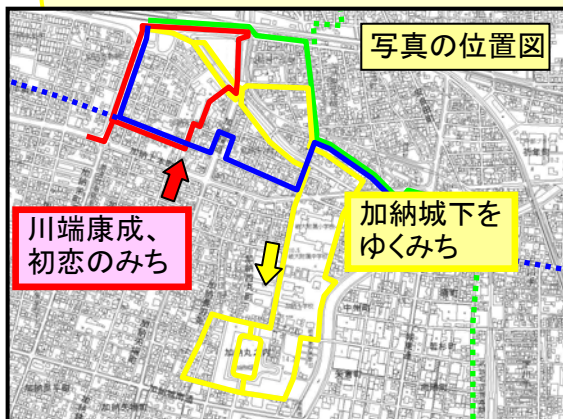
景観に配慮したガードパイプ

石垣をイメージした歩道と縁石

地道風舗装に合わせた側溝整備

地道風舗装

歩道のフラット化



写真の位置図

川端康成、初恋のみち

加納城下をゆくみち

## 川端康成、初恋のみち

整備前



電柱の着色

整備後のイメージ

小説の抜き書きとミニマップの掲示

神社の参道を感じさせる路肩の石張り

路肩の石張りに合わせた側溝整備

地道風舗装

中山道 地道風舗装

和傘を持って歩いていた事から路肩に和傘の模様を描く

加納天満宮の参道部には地道風舗装や路肩の石張りを施すなど、周辺の景観に配慮した演出をする。また、川端康成氏が歩いた時の情景が分かるように、和傘の模様を描いたり掲示板を設置する。

※周遊ルートの中線がこのような整備イメージになることを示したものではありません。また、整備に入る際は、今回策定する構想をもとに、より具体的な整備内容について担当事業室より説明があります。

## まちなか歩きの観点から、拠点に求められる機能

### 拠点としての機能を求める場所

水と緑を活かして、歴史的・文化的資産をプロムナードで結んだ整備済みである**清水緑地**、今後、活用が検討される**旧加納町役場**、**加納城跡**を拠点として検討する。

### 位置付け

**休憩**ができ、**歴史**や**文化**が感じられる**学び**と**賑わい**の場。また、加納城跡は、来訪者のまちなか歩きの**起終点**になることができる場。

### 求められる機能

休憩機能として**休むことができる施設**、**トイレの設置**、案内機能として**手持ちマップの配布**、**施設の位置がわかる案内板の設置**、学習機能として**加納の歴史や伝統文化を感じ学ぶことができる施設の設置**が求められ、加納城跡にはアクセス機能として**車、自転車の駐車場の設置**が求められる。



清水緑地



旧加納町役場



加納城跡

## 今後の展開について

・今後の進め方について、中山道の歴史系サイン整備事業は、平成19年度から事業着手し順次設置する。同じく中山道の道路修景事業も平成20年度から順次実施する。

「御鮎街道」、「加納城下をゆくみち」、「川端康成、初恋のみち」については、今後担当事業室と調整を図る。

敷地空間の活用や景観形成のためのルールづくりなどのソフト事業については準備期間が必要になるが、市民や関係団体と連携し行政と協働で進めていく。

- ・拠点の活用については、本構想の検討内容を踏まえ、今後、担当事業課にて検討を進めていく。
- ・周遊ルートマップ作成や配布等により、広く周遊ルートの周知を図る。

## 本構想案が策定されるまでの取り組み

### (第1回) ワークショップ

- ・日時：平成19年10月31日（水）
- ・場所：加納東公民館
- ・内容  
25人のメンバーをA, B, Cの3グループに分け、加納地区まちなか歩き構想の策定に伴うワークショップを行いました。  
加納地区にある魅力や、周遊ルートについて活発な意見が出されました。



### 加納地区まちなか歩き構想 ワークショップメンバー

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 加納東自治会連合会            |        |
| 会長                   | 小澤 比佐志 |
| 副会長                  | 藤塚 弘   |
| 副会長                  | 長谷川 弘司 |
| 社会部長                 | 平澤 正利  |
| 文化部長                 | 高橋 優   |
| 防災・防犯部長              | 篠田 章   |
| 加納西自治会連合会            |        |
| 自治会連合会副会長            | 村木 紀久男 |
| 自治会連合会副会長            | 三浦 龍臣  |
| 自治会連合会支部長            | 松葉 和之  |
| 加納まちづくり会             |        |
| 会長代行                 | 森嶋 亘   |
| 事務局長                 | 松尾 一   |
| 会計                   | 水野 律子  |
| 理事                   | 宮田 達郎  |
| 中山道加納宿文化保存会          |        |
| 会長代行                 | 村瀬 武司  |
| 副会長                  | 白木 幸一  |
| 理事                   | 杉岡 滋夫  |
| 三里校区                 |        |
| 自治会連合会長              | 瀬瀬 晴美  |
| 菊池東自治会長              | 後藤 善秋  |
| 合渡校区                 |        |
| 中山道河渡宿の会             | 市川 正晴  |
| 中山道河渡宿の会             | 関谷 美和子 |
| 厚見校区                 |        |
| 厚見公民館長               | 加藤 隆一  |
| 自治会連合会副会長            | 勝野 茂雄  |
| 岐阜市                  |        |
| まちづくり景観室             | 坂本 有実香 |
| 社会教育室                | 内堀 信雄  |
| 道路建設室                | 宮川 龍也  |
| コーディネーター（加納まちづくり会顧問） |        |
| 岐阜大学教授               | 富樫 幸一  |
| 事務局                  |        |
| 岐阜市 まちなか歩き推進室        |        |
| 財団法人 岐阜市にぎわいまち公社     |        |

※順不同

### (第2回) ワークショップ、タウンウォッチング

- ・日時：平成19年12月23日（日）
- ・場所：じゅうろくプラザ、(タウンウォッチング)、加納東公民館
- ・内容  
じゅうろくプラザで、前回のワークショップを振り返り、周遊ルートと現地の確認のため、タウンウォッチングを行いながら、加納東公民館に向かい、ワークショップを行いました。  
タウンウォッチングで発見された魅力や、周遊ルートの整備イメージについて多くの意見が出されました。



### (第3回) ワークショップ

- ・日時：平成20年2月25日（月）
- ・場所：じゅうろくプラザ
- ・内容  
今回が最後になるワークショップ。これまでに検討された内容を元に、整備イメージ、敷設空間の活用、まちなか歩きの観点から拠点に求められる機能について検討がなされました。



岐阜市 まちづくり推進部まちなか歩き推進課

岐阜市今沢町18番地

財団法人 岐阜市にぎわいまち公社

岐阜市神田町1丁目11番地

TEL 058-265-4141（代表）

2008年 3月作成